

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2019年第47週
(11月18日～11月24日)

- * 2019年11月27日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「冬の食中毒対策(ノロウイルスを中心に)」も掲載しています。

令和元年(2019年)11月28日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2019年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	79	54	65	47	2,848	317	19,062
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ					2		5
	細菌性赤痢	1	2	1	3	23	9	101
	腸管出血性大腸菌感染症	5	6	2	8	371	72	3,545
	腸チフス					3		34
	パラチフス		1			4		18
四類	E型肝炎	2	2	1	1	116	5	442
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		2	2	5	138	7	404
	エキノコックス症						2	20
	黄熱							
	オウム病					3		13
	オムスク出血熱							
	回帰熱							6
	キャサヌル森林病							
	Q熱						1	2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							3
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					1		96
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱		1			9		45
つつが虫病				3	4	24	173	
デング熱	4	4	2	4	124	7	433	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						6	303
	日本脳炎							7
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア	1	2			19	2	53
	野兔病							
	ライム病					1		17
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							2
	レジオネラ症	3	5	3	5	174	26	2,148
レプトスピラ症		1			9		28	
ロッキー山紅斑熱								

2019/11/27集計

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 47件 患者 25件(肺結核 20件、その他の結核 5件)、無症状病原体保有者 20件、疑似症 2件、年齢は5歳未満 4件、10代 1件、20代 6件、30代 3件、40代 6件、50代 6件、60代 5件、70代 12件、80代 4件、推定感染地は国内 32件、ネパール 1件、ベトナム 1件、中国 1件、米国 1件、不明 11件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 3件 患者 3件、菌種はソンネ 3件、年齢は30代 2件、40代 1件、推定感染地はフィリピン 3件、推定感染経路は経口感染 3件であった。すべて第45週に報告のあった患者の同行者であった。

腸管出血性大腸菌感染症 8件 患者 7件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 2件、O157 VT型不明 3件、年齢は10歳未満 2件、10代 2件、20代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 7件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 4件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

A型肝炎 5件 患者 5件、年齢は30代 1件、40代 2件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、エジプト 1件、タイ 1件、推定感染経路は同性間性的接触 3件、経口感染 2件、A型肝炎ワクチン接種歴はすべて無しであった。

つつが虫病 3件 年齢は50代 1件、70代 2件、推定感染地は国内 3件であった。

デング熱 4件 病型はデング熱 4件、血清型は2型 3件、不明 1件、年齢は20代 2件、40代 1件、50代 1件、推定感染地はインド 1件、ネパール 1件、フィリピン 1件、モルディブ 1件であった。

レジオネラ症 5件 病型は肺炎型 5件、年齢は40代 1件、50代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は水系感染 3件(温泉 2件、追い炊き風呂 1件)、不明 2件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 病型は腸管 3件、年齢は40代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴無しであった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2019年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	3	2	3	146	7	767
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	4	3	3	1	90	3	301
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	10	8	2	6	207	26	2,034
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） ^{*1}					5	4	70
	急性脳炎 ^{*2}	2	1			72	12	771
	クリプトスポリジウム症					4		19
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				17	4	175
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	4		111	8	822
	後天性免疫不全症候群	4	13	15	8	358	15	1,083
	ジアルジア症	1	1			9		45
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	3		78	3	486
	侵襲性髄膜炎菌感染症					4	1	45
	侵襲性肺炎球菌感染症	12	2	7	11	329	56	2,856
	水痘（入院例に限る）	2	2		2	67	10	429
	先天性風しん症候群	1				2		3
	梅毒	30	27	24	33	1,549	77	5,957
	播種性クリプトコックス症	1				11	4	138
	破傷風	1		1		8	1	114
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		1		8		71
百日咳	33	10	23	19	1,258	213	15,523	
風しん	4	1		1	853	1	2,266	
麻しん			1		121	5	737	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		24	

2019/11/27集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6件 病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・アエロゲネス 2件、クレブシエラ・オキシトカ 2件、セラチア・マルセッセンス 1件、年齢は5歳未満 1件、60代 1件、70代 3件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 2件、推定感染経路は以前からの保菌 4件、医療器具関連感染 1件（中心静脈カテーテル）、不明 1件、90日以内の海外渡航歴はすべて無しであった。

後天性免疫不全症候群 8件 AIDS 3件、無症候キャリア 5件、性別は男性 7件、女性 1件、AIDS患者の年齢は20代 1件、40代 1件、60代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 3件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 6件、タイ 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 6件（同性間 4件、異性間 2件）、輸血 1件、不明 1件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 11件 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 3件、40代 1件、50代 1件、70代 5件、80代 1件、推定感染地は国内 8件、スウェーデン 1件、不明 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 7件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、13価3回・価数不明1回接種済み 1件、13価3回接種済み 1件、23価1回接種済み 1件、無し 4件、不明 3件であった。

水痘（入院例） 2件 臨床診断例 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、水痘ワクチン接種歴無し 1件、不明 1件であった。

梅毒 33件 患者 27件（早期顕症梅毒Ⅰ期 14件、早期顕症梅毒Ⅱ期 11件、晩期顕症梅毒 2件）、無症候梅毒 6件、性別は男性 18件、女性 15件、年齢は20代 11件、30代 8件、40代 9件、50代 4件、70代 1件、推定感染地は国内 29件、タイ 1件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 31件（同性間 4件、異性間 23件、性別不明 4件）、不明 2件であった。

百日咳 19件 年齢は10歳未満 10件（うち5歳未満 2件）、10代 3件、20代 1件、40代 3件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 14件、不明 5件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 10件、1回接種済み 2件、不明 7件であった。

風しん 1件 検査診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第40週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。
 ※ 第43週該当分として〔五類〕風しん 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2019年47週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2019年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		44週	45週	46週	47週		
小児科	RSウイルス感染症	72 0.28	70 0.27	62 0.24	60 0.23	257	264
	咽頭結膜熱	77 0.30	79 0.30	101 0.39	93 0.36		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	585 2.24	489 1.88	723 2.78	624 2.43		
	感染性胃腸炎	990 3.79	986 3.79	1,312 5.05	1,413 5.50		
	水痘	105 0.40	72 0.28	124 0.48	117 0.46		
	手足口病	528 2.02	491 1.89	417 1.60	386 1.50		
	伝染性紅斑	48 0.18	58 0.22	47 0.18	37 0.14		
	突発性発しん	104 0.40	95 0.37	146 0.56	79 0.31		
	ヘルパンギーナ	80 0.31	51 0.20	43 0.17	47 0.18		
	流行性耳下腺炎	22 0.08	12 0.05	16 0.06	21 0.08		
	川崎病 ^{*1}	3 0.01	5 0.02	1 0.00	1 0.00		
	不明発しん症 ^{*1}	17 0.07	9 0.03	11 0.04	12 0.05		
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	461 1.11	460 1.11	828 2.00		
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	12 0.32	14 0.37	10 0.26	10 0.26		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}			2 0.08		25	25
	無菌性髄膜炎	1 0.04	1 0.04	1 0.04			
	マイコプラズマ肺炎	14 0.56	25 1.04	23 0.92	23 0.92		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04		2 0.08			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}				1 0.04		
	インフルエンザ入院	1 0.04	5 0.21	2 0.08	12 0.48		

2019/11/27集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数が増加し、全保健所管内で1を超えました。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数が増加しているものの、例年より低く推移しています。
- ・ マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続過去5年平均を上回り、今後の動向に注意が必要です。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2019年47週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	8	1	2	10	2			1			
6～11か月	12			67	5	18		24	2		
1歳	19	18	5	207	7	87	2	38	8		
2歳	5	19	25	145	6	69	2	8	3		
3歳	7	15	41	134	10	67	7	4	2	1	
4歳	5	10	86	145	4	64	6	3	2	2	
5歳	4	12	95	126	11	26	5		3	7	1
6歳		7	77	97	13	23	5		1	3	
7歳		6	78	73	23	10	4		3	1	
8歳		1	71	68	12	5	4		4	3	
9歳		2	48	53	7	3	1		1		
10～14歳		2	70	139	13	7		1		4	
15～19歳			4	18	1						
20～29歳			22	131	3	7	1		18		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	60	93	624	1,413	117	386	37	79	47	21	1
先週比	-2	-8	-99	101	-7	-31	-10	-67	4	5	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1							1	
6～11か月		19								
1歳	5	33		1						2
2歳		37		1			1			
3歳	2	45					1			
4歳	2	69					4			
5歳		77								
6歳		100		1			2			
7歳		118					2			
8歳		110					4			
9歳	1	73					3			
10～14歳	2	190		1			3			2
15～19歳		36					1			2
20～29歳		45					1			
30～39歳		66		6			1			
40～49歳		127								1
50～59歳		48								
60～69歳		17								
70～79歳		11								1
80歳以上		3								4
合計	12	1,225		10			23		1	12
先週比	1	397			-2	-1		-2	1	10

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2019年47週

	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病
千代田				1.00		1.67		1.00			
中央区			2.33	12.67		3.00	0.33	0.33	0.67	0.33	
みなと		0.50	1.83	3.67		1.17	0.17	0.33			
新宿区	0.75	0.13	2.63	7.13		0.50	0.38	0.25	0.38		
文京			0.75	6.00	1.75	0.75		0.50			
台東	0.75	0.75	6.25	13.00			0.50	0.75	0.25	0.25	
墨田区		0.20	2.60	3.40	0.40	0.80			0.20		
江東区	0.22	0.44	2.78	7.33		1.11	0.33	0.11	0.11		
品川区		0.50	0.88	7.38		1.75	0.13	0.38			
目黒区	0.20	1.20	1.80	6.80	0.40	1.00		0.60		0.20	
大田区	0.67	1.00	1.83	8.67	0.08	1.00	0.08	0.25	0.08	0.25	
世田谷	0.31	0.06	1.63	6.25	0.13	1.13	0.06	0.13	0.13		
渋谷区	0.25		1.00	7.00		1.50		0.25			
中野区	0.17	0.67	3.17	7.17	1.33	1.17	0.17	0.67			
杉並		0.40	2.60	4.50	0.30	0.60	0.20	0.10			
池袋		1.00		1.00		0.20	0.20	0.20	5.20		
北区			0.86	6.57	0.29	1.43		0.57		0.14	
荒川区	1.00		3.25	7.75	1.00	1.00	0.75	0.25	0.25	0.25	
板橋区	0.30		1.00	4.30	0.20	0.80			0.20	0.20	
練馬区	0.15	0.08	3.46	4.31	0.38	1.08	0.23	0.38	0.15	0.08	
足立	1.18	0.36	2.18	6.09	1.09	1.55		0.36		0.09	
葛飾区			2.50	5.38	0.25	0.25	0.13	0.38			
江戸川	0.08	0.42	3.25	4.17	0.42	0.50	0.25	0.42		0.33	
八王子市	0.36	0.27	5.27	6.73	0.55	3.64	0.09	0.36	0.09	0.09	
町田市			3.38	6.63	1.88	4.75					
西多摩		0.25	0.63	3.00	1.38	1.00				0.13	
南多摩	0.33	0.22	4.22	2.11	0.22	3.33		0.22		0.22	
多摩立川	0.14		1.21	4.29	0.21	1.64		0.29	0.07		
多摩府中		0.37	2.84	4.32	0.63	1.84	0.21	0.47	0.16	0.05	0.05
多摩小平	0.07	1.50	3.57	4.86	0.79	2.86	0.29	0.29			
島しょ							1.00	2.00			
東京都	0.23	0.36	2.43	5.50	0.46	1.50	0.14	0.31	0.18	0.08	0.00

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田	0.33	3.25					1.50			
中央区		2.20								
みなと		2.00					2.00			3.00
新宿区	0.25	2.42					2.00			
文京		3.57								
台東		2.14								
墨田区	0.60	1.75					2.00			
江東区		2.57								
品川区		3.92								
目黒区		5.25								
大田区		4.35								
世田谷		5.28								3.00
渋谷区		1.57		1.00			1.00		1.00	
中野区		6.20								
杉並		2.07		1.00						0.50
池袋		2.88		1.00			6.00			
北区		1.73								
荒川区		6.14		2.00						
板橋区		3.00								
練馬区		2.38								
足立	0.09	1.35		0.50						
葛飾区		1.31		1.00			1.00			
江戸川		2.89								
八王子市		2.06								
町田市		3.69								
西多摩		1.31					2.00			
南多摩		2.64								
多摩立川		1.24								
多摩府中	0.26	3.87					0.33			0.33
多摩小平		3.36		1.50			0.50			0.50
島しょ		9.50								
東京都	0.05	3.00		0.26			0.92		0.04	0.48

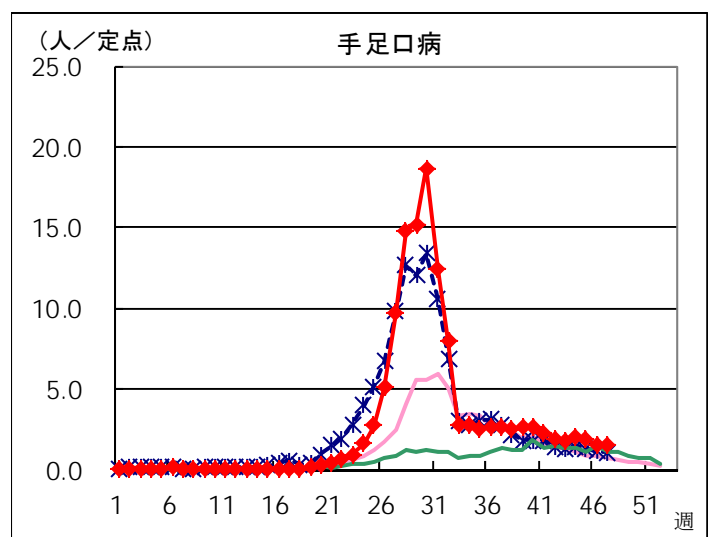
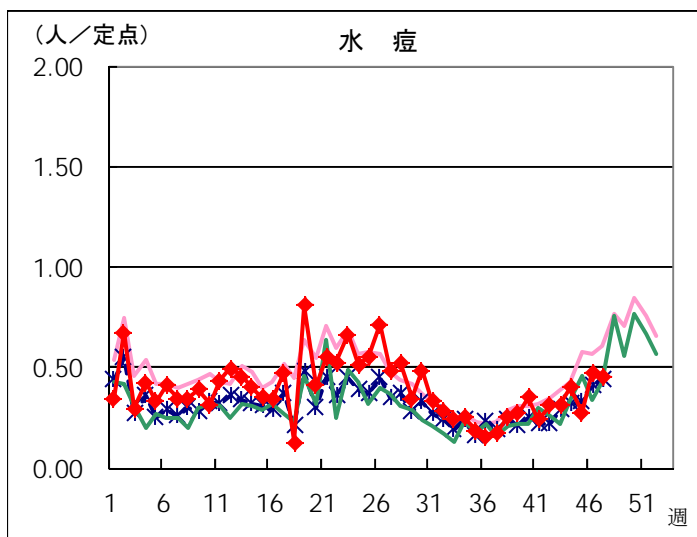
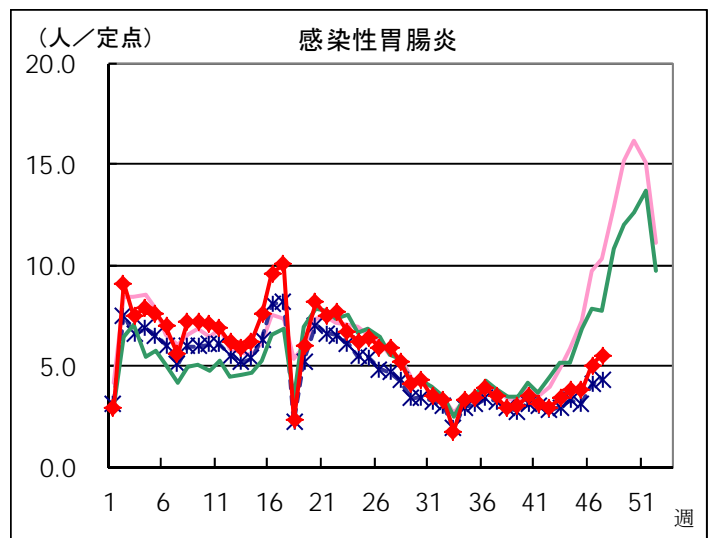
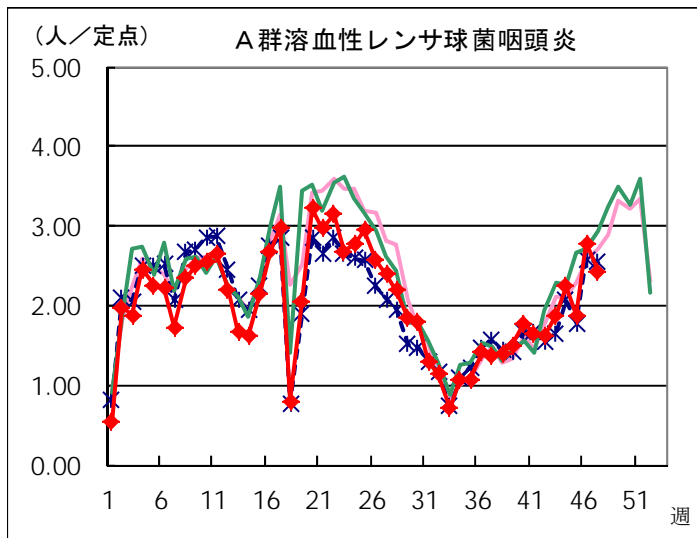
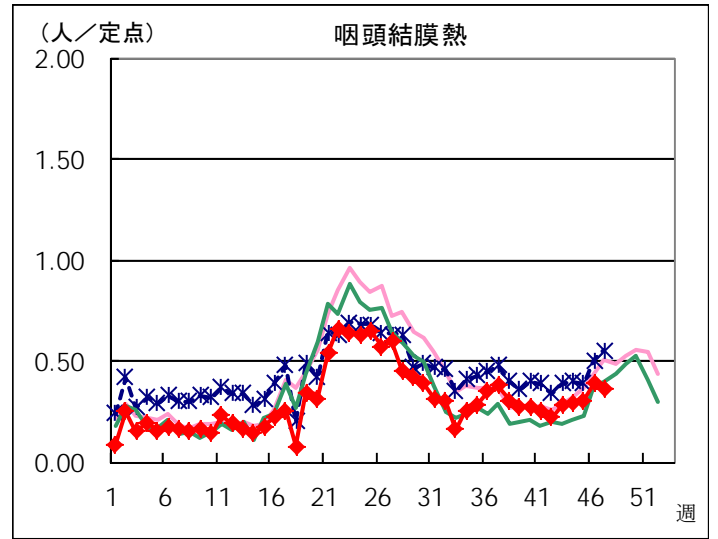
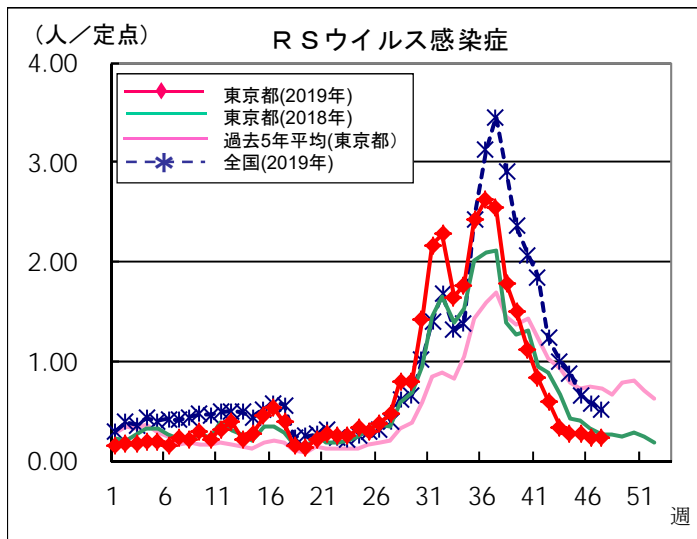
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2019年47週

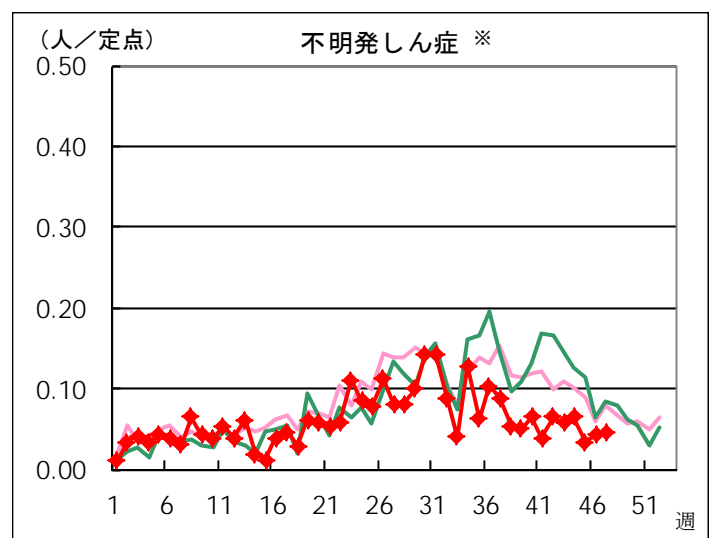
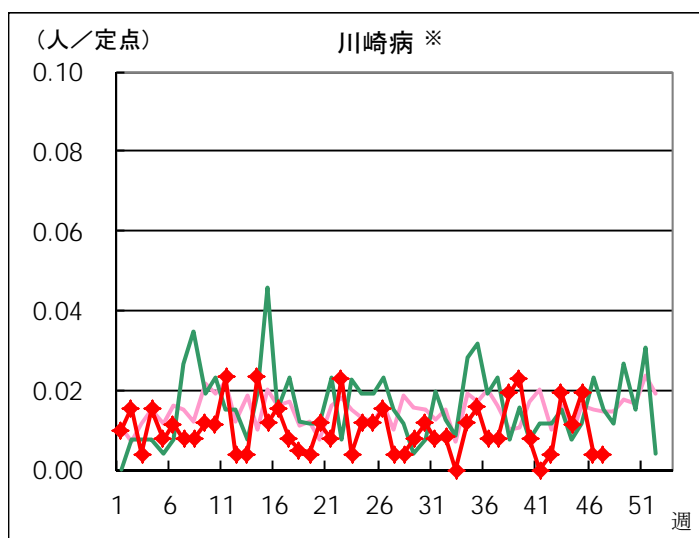
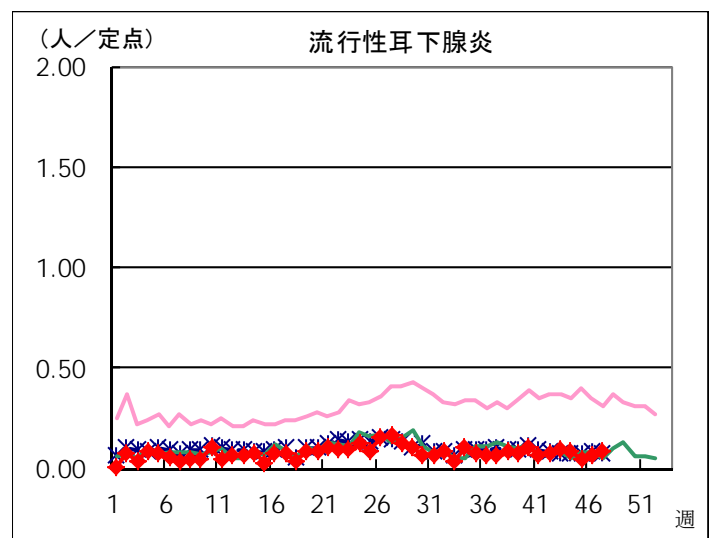
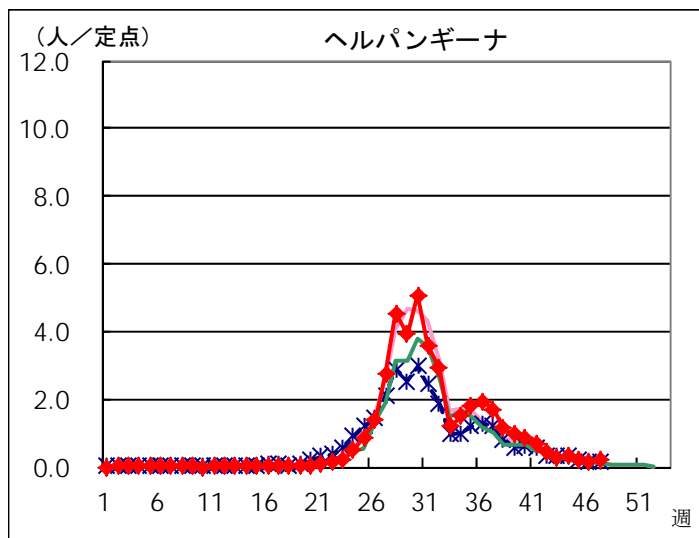
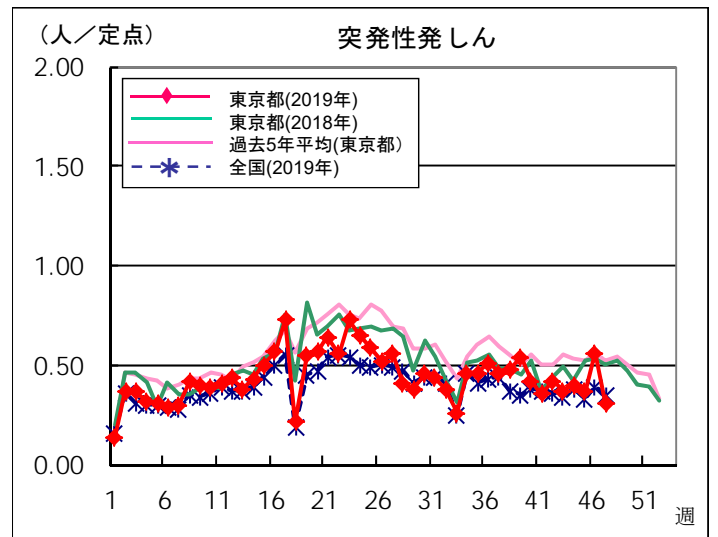
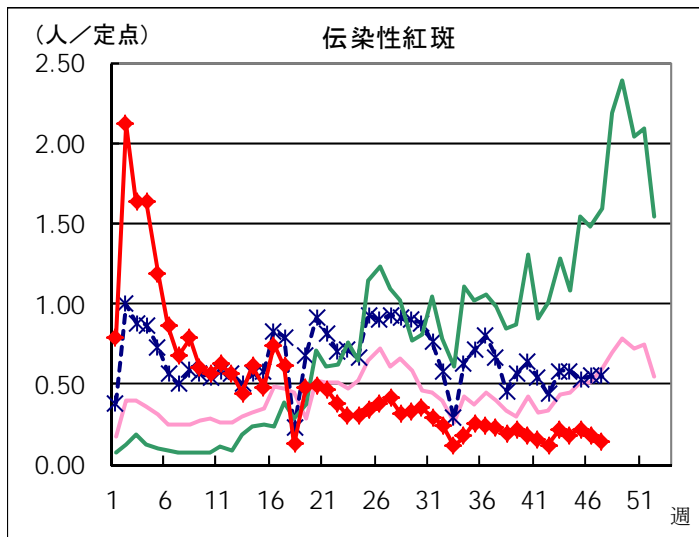
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				3		5		3			
中央区			7	38		9	1	1	2	1	
みなと		3	11	22		7	1	2			
新宿区	6	1	21	57		4	3	2	3		
文京			3	24	7	3		2			
台東	3	3	25	52			2	3	1	1	
墨田区		1	13	17	2	4			1		
江東区	2	4	25	66		10	3	1	1		
品川区		4	7	59		14	1	3			
目黒区	1	6	9	34	2	5		3		1	
大田区	8	12	22	104	1	12	1	3	1	3	
世田谷	5	1	26	100	2	18	1	2	2		
渋谷区	1		4	28		6		1			
中野区	1	4	19	43	8	7	1	4			
杉並		4	26	45	3	6	2	1			
池袋		5		5		1	1	1	26		
北区			6	46	2	10		4		1	
荒川区	4		13	31	4	4	3	1	1	1	
板橋区	3		10	43	2	8			2	2	
練馬区	2	1	45	56	5	14	3	5	2	1	
足立	13	4	24	67	12	17		4		1	
葛飾区			20	43	2	2	1	3			
江戸川	1	5	39	50	5	6	3	5		4	
八王子市	4	3	58	74	6	40	1	4	1	1	
町田市			27	53	15	38					
西多摩		2	5	24	11	8				1	
南多摩	3	2	38	19	2	30		2		2	
多摩立川	2		17	60	3	23		4	1		
多摩府中		7	54	82	12	35	4	9	3	1	1
多摩小平	1	21	50	68	11	40	4	4			
島しょ							1	2			
東京都合計	60	93	624	1,413	117	386	37	79	47	21	1

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田	1	13					3			
中央区		11								
みなと		18					2			3
新宿区	2	29					4			
文京		25								
台東		15								
墨田区	3	14					2			
江東区		36								
品川区		47								
目黒区		42								
大田区		87								
世田谷		132								6
渋谷区		11		1			1		1	
中野区		62								
杉並		31		1						1
池袋		23		1			6			
北区		19								
荒川区		43		2						
板橋区		48								
練馬区		50								
足立	1	23		1						
葛飾区		17		1			1			
江戸川		55								
八王子市		37								
町田市		48								
西多摩		17					2			
南多摩		37								
多摩立川		26								
多摩府中	5	116					1			1
多摩小平		74		3			1			1
島しょ		19								
東京都合計	12	1,225		10			23		1	12

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2019年47週 現在)

◆ 小児科定点

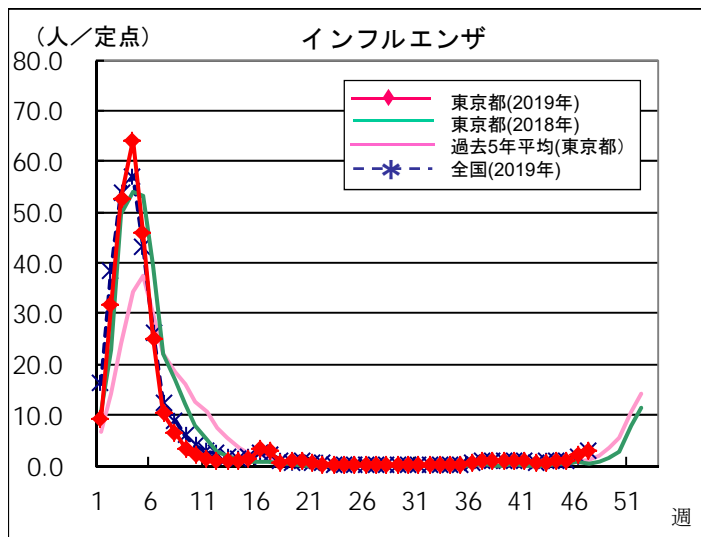




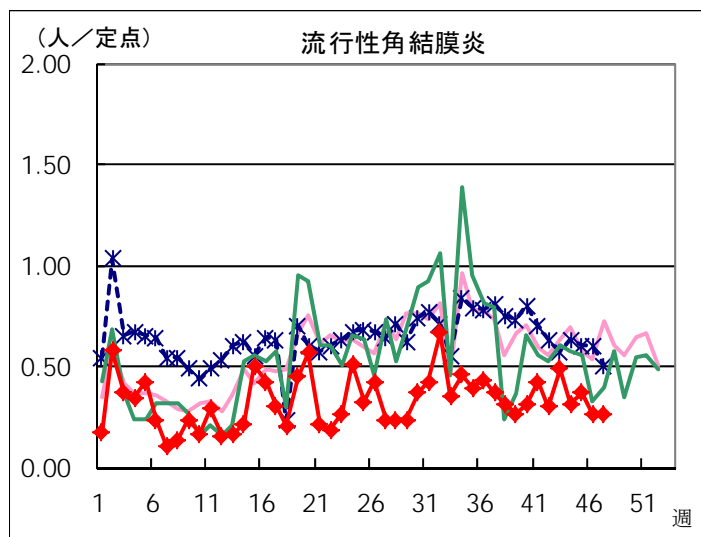
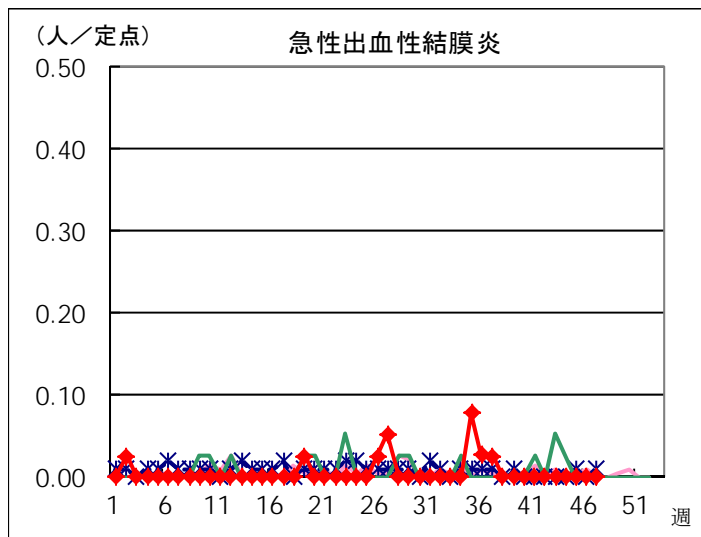
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

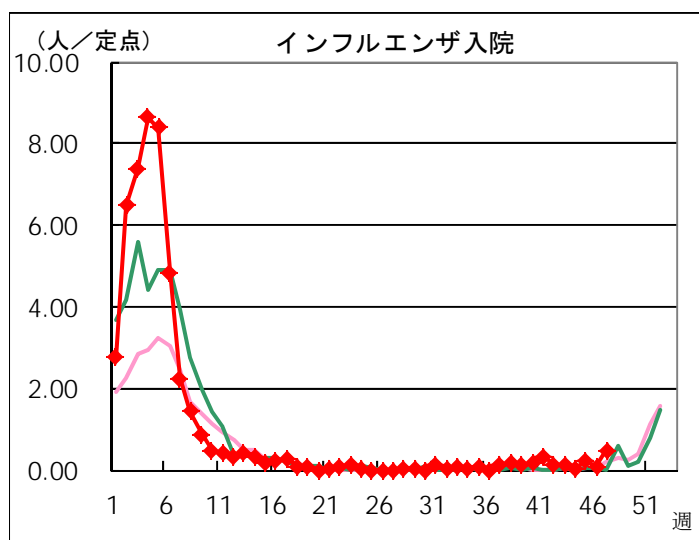
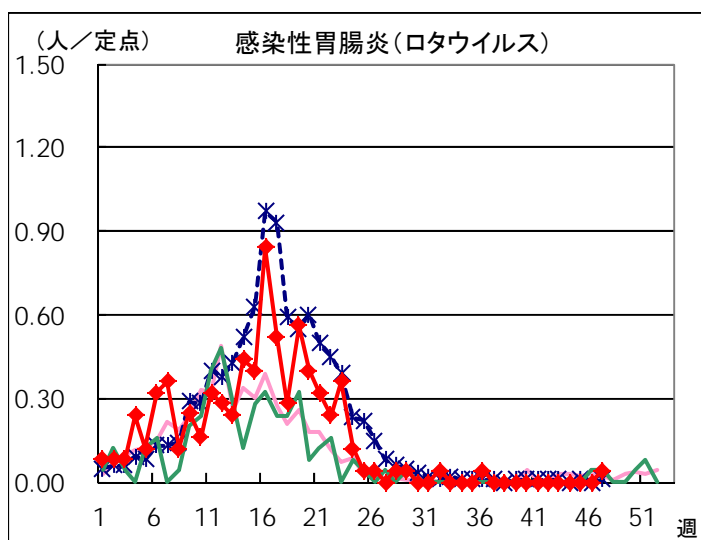
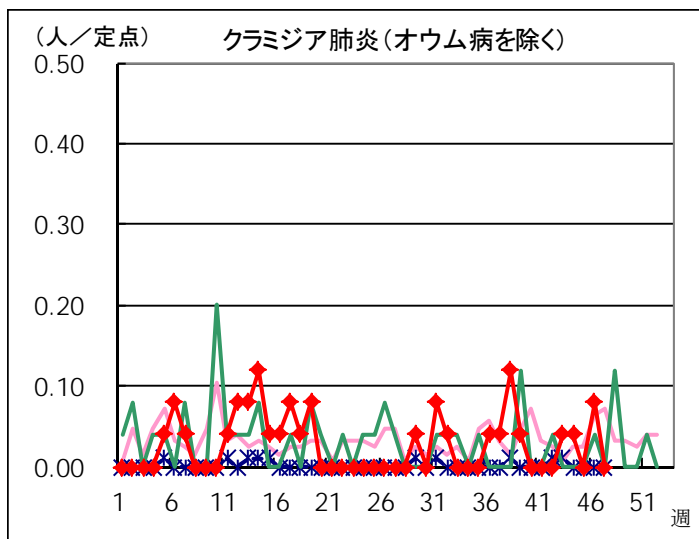
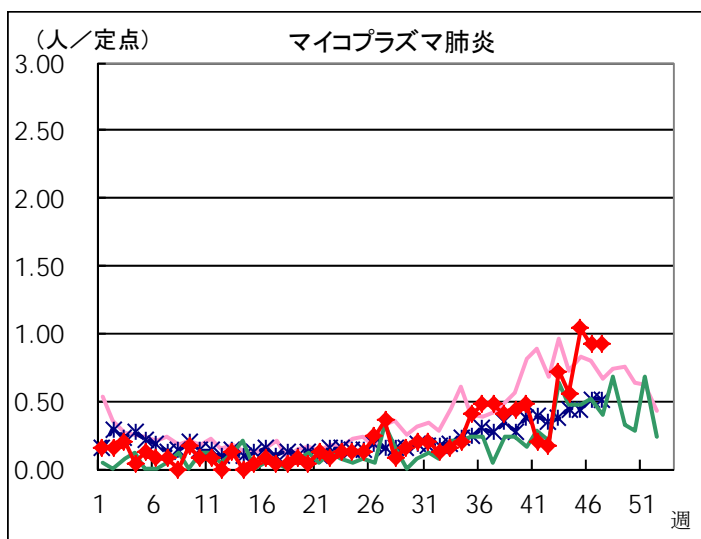
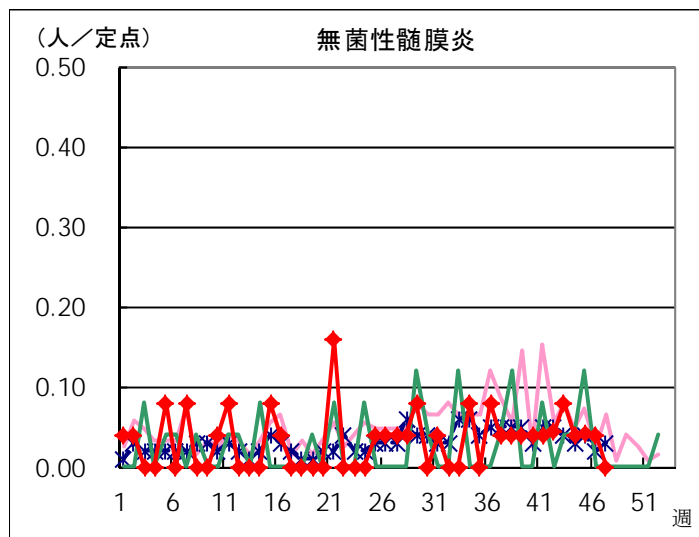
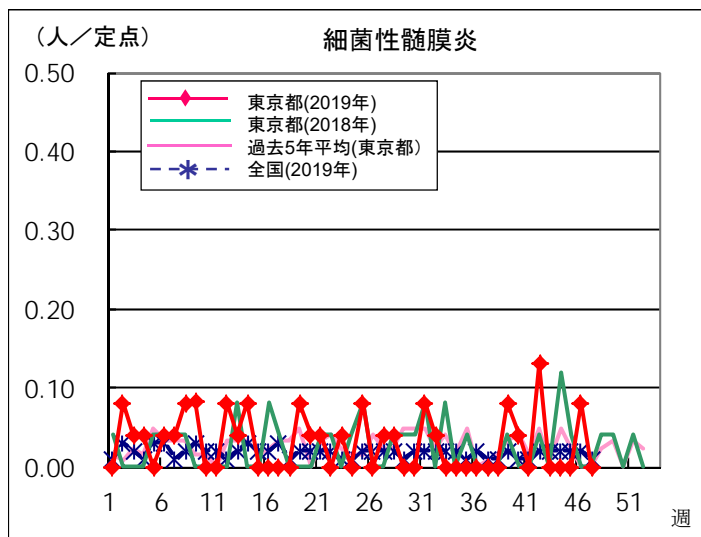
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
11/4	手足口病	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
11/5	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスA型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年45週	4			
2019-2020年 シーズン累計*	34	1		

* 2019-2020年シーズンの開始は第36週(2019年9月2日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2019年							
	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週
アデノウイルス	2		1	1		3	1	
コクサッキーウイルスA群	1	4	3	1	2	1	1	1
コクサッキーウイルスB群	1							
エコーウイルス				1		1		
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス	1							
ライノウイルス	1		1	3		3	4	
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス	1							
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1	1	2			1	2	
EBウイルス							1	
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)			1					
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19			1					
RSウイルス		1	2	2	1	1		1
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス				1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2	2	7	3	3	3	5	4
インフルエンザウイルスAH3亜型					1			
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス	1							
A群溶血性レンサ球菌T-1型				1			4	
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-12型				1		1		
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				2		1		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ	2		1					
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2019年38週～2019年45週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	8	8	13	7	3	16	3	5	3	4	2	24	30	26		1		5	3	
アデノウイルス		3		1									1	2		1				
コクサッキーウイルスA群						9			3			1	1							
コクサッキーウイルスB群												1								
エコーウイルス												1						1		
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス						1														
ライノウイルス						1						4	2	5						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス					1															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								2												
EBウイルス										1										
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)													1							
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトバルボウイルスB19																				
RSウイルス	8																			
ノロウイルス																				
ロタウイルス																				
サボウイルス				1																
インフルエンザウイルスAH1pdm09														27	2					
インフルエンザウイルスAH3亜型														1						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																				
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
その他のウイルス						1														
A群溶血性レンサ球菌T-1型			5																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型				2																
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1																
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				3																
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				3
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

冬の食中毒対策（ノロウイルスを中心に）

冬の食中毒の原因物質を見てみると、多くがノロウイルスによる食中毒である。この食中毒は1年を通して発生しているが、感染症も含め特に冬は注意が必要な季節である。

ノロウイルス食中毒といえば、原因食品としてカキ等の二枚貝が思い浮かぶかもしれないが、多くの発生要因は調理従事者が原因となっている。（図）

食中毒の対策として、カキなど特定の原因食品の管理や食材等の衛生的な取り扱いも大切であるが、加えて食品に関わる従事者の健康管理や感染防止のための一般衛生管理の徹底が重要となる。

今更であるが、やはり手洗いは基本中の基本である。そこで、食品安全委員会の「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル ～ノロウイルス～」のデータを引用させていただいた。（表）

このデータを見るにつけ、しっかり手を洗うことはもちろん、二度洗いの大切さも感じてほしいところである。

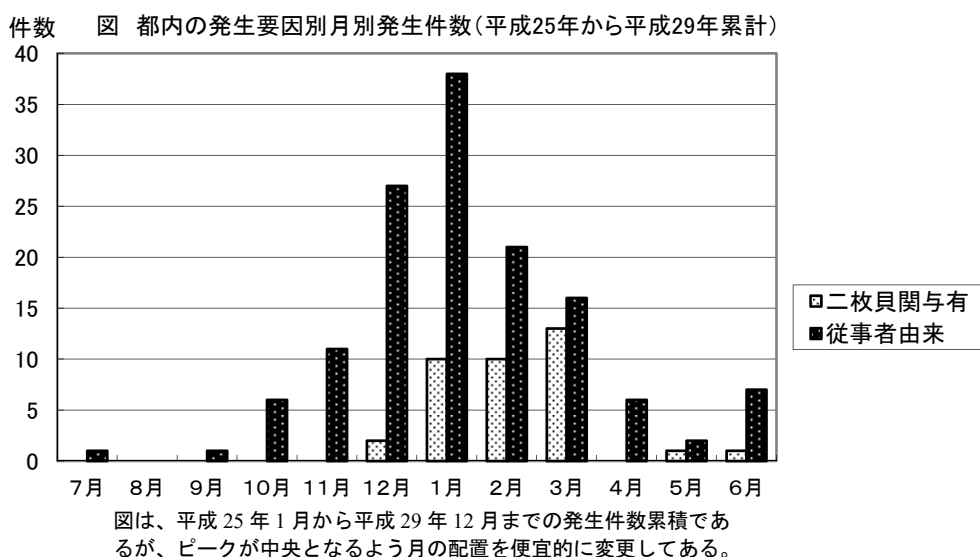


表 手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数 (手洗いなしと比較した残存率)
手洗いなし	約 1,000,000 個
流水で 15 秒手洗い	約 10,000 個 (約 1%)
ハンドソープで 10 秒又は 30 秒もみ洗い後、流水で 15 秒すすぎ	約 100 個 (約 0.01%)
ハンドソープで 60 秒もみ洗い後、流水で 15 秒すすぎ	約 10 個 (約 0.001%)
ハンドソープで 10 秒もみ洗い後、流水で 15 秒すすぎを 2 回繰り返す	約 数個 (約 0.0001%)

「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～ノロウイルス～」
(食品安全委員会HP) より引用

(文責 東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長 永淵恒幸)